

# 榛原総合病院 だより 6

2022  
第 200 号

## 出張健康無料相談 —まちの保健室—

静岡県看護協会主催の“まちの保健室”を、牧之原市「さざんか」において開催します。榛原総合病院の保健師が出張し、健診結果や住民検診に関する相談を無料でお受けします。お気軽にご相談ください。皆様のご来場をお待ちしています。



- ❖ 日時 ①令和4年 7月 2日 (土) 午前8時15分～午前11時  
②令和4年 12月 17日 (土) 午前8時15分～午前11時
- ❖ 場所 ①、②とも牧之原市総合健康福祉センター「さざんか」

## リレーでお届け病気の話

ごえんせいはいえん  
「誤嚥性肺炎」について (医師のお話 ①)

総合内科 久岡 隆行 (ひさおか たかゆき)

誤嚥性肺炎とは…



「発熱し、元気がなく、食欲が低下した。」と、いう理由で受診される患者さんが多数います。その中で、診察、検査の結果、誤嚥性肺炎と診断される患者さんがいます。誤嚥性肺炎とはどのような病気なのか、また、その予防法についてお話しします。

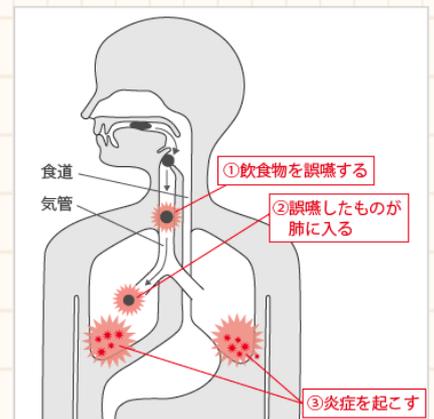
嚥下 図解：喉の奥には気道(気管)と食道がありますが、食べ物は食道に流れ込まなければいけません。私たちがものを食べる時には、まず食べ物を認識して、それを口の中へと運び、歯で噛み砕いてから、舌と唾液で塊にして飲み込んでいます。

この過程のうち、食べ物を飲み込んで胃に送るまでの動作のことを嚥下(えんげ)といいます。

私たちは普段は嚥下を行う事を意識することはありません。ただ、食べるという動作としてごく自然に行っています。

しかし、実は嚥下の仕組みはとても複雑な過程を経ています。この仕組みがうまく機能しないと、私たちはものを食べたり飲み込んだりすることが、うまくできなくなります。その結果として、食物などが、気道(気管)に侵入することを誤嚥(ごえん)と言います。すると、通常は咳嗽(がいそう)反射：食事や水を飲むときにむせる現象が生じ、気道(気管)に食べ物が入らないようにするための防御機能が働きます。気道(気管)に水分、物が流れ込みそうになった時にむせることで流れ込みを防止するのです。

この防御反応であるむせ込みの反射が低下し、誤嚥によって生じる肺炎を誤嚥性肺炎と言います。(次号へ続く)



## ボランティア連絡協議会活動報告

<5月の活動> ありがとうございました

5月14日(土) 牧之原市榛原地区民生委員の皆さん 24人 (第2駐車場草刈り)



<おねがい> 受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。

榛原総合病院の理念

❖ 生命を安心して預けられる病院

❖ 健康と生活を守る病院